

PIERIA 音楽ドイツ語文法講座 レベル 2

【目次】

課	内容	コラム
1	冠詞の機能	音楽ジャンル①
2	人称代名詞、目的語の位置	音楽ジャンル②
3	前置詞、格支配と定冠詞の融合	奏法に関する語彙①
4	形容詞の格変化と名詞化	奏法に関する語彙②
5	形容詞の比較級、最上級	記譜に関する語彙
6	副詞、数詞、時間表現など	和声に関する語彙

1. ドイツ語の冠詞

ドイツ語の冠詞は、その冠詞がかかる名詞の性、数、格によって変化します。また、ドイツ語の冠詞には定冠詞と不定冠詞があります。これらのことはレベル1の第4課から第6課で勉強したとおりです。本課では、定冠詞と不定冠詞の用法、また、どういうときに無冠詞になるか、を勉強します。

1.1. 定冠詞の用法

原則として定冠詞は、話し手が、ある物・事が聞き手にとって既知であると考えていることを表現するのに用いられます。以下にその具体的な例を挙げてみましょう。

- (1) これは原則から分かることですが、聞き手にとって特定のものと話し手が考えた場合に定冠詞が用いられます。

Ich gehe in der Stadt spazieren.

(in~ ~内を、gehe...spazieren 散歩する)

私は市内を散歩する。

この場合、Stadt は特定の都市を表しています。

Er spielt oft auf der Straße. (auf~ ~の上で)

彼はしばしば路上で演奏している。

Wir konzertieren morgen in der Kirche.

私たちは明日教会でコンサートを開く。

- (2) すでに言及されたものについて再度言及する場合にも定冠詞が用いられます。

Er hat ein Motorrad. Das Motorrad ist sehr groß.

彼は一台のオートバイを持っている。そのオートバイはとても大きい。

Er hat eine Geige. Die Geige ist sehr alt.

彼は一挺のヴァイオリンを持っています。そのヴァイオリンはとても古い。

Sie repariert ein Akkordeon. Das Akkordeon gehört mir.

彼女は一台のアコーディオンを修理します。そのアコーディオンは私のものです。

第一の文で言及された **Motorrad** には不定冠詞がついていますが、第二の文で再度言及されるときには **Motorrad** に定冠詞がついています。

【略】

SAMPLE

－ 練習問題 (1) －

(1) ()内に冠詞を入れて和訳しなさい。ただし、無冠詞の場合には×印をつけなさい。

1. () Gründer () Zwölftonmusik ist Arnord Schönberg.
2. Stephans Vater hat () Gitarre. () Gitarre ist weiß. (Stephans Vater シュテファンの父)
3. () Sonne geht im Osten auf. (im Osten 東から、geht…auf 昇る)

【略】

(2) 独訳しなさい。

1. その音楽教師は一挺のヴァイオリンと一挺のヴィオラを持っています。
2. そこに一冊のスコアがあります。そのスコアはわたしの兄のものです。(～がある liegen)

【略】

(3) 次の例文を参考にして各文を独訳しなさい。

(例) ヨハネス・ブラームスは(ある)先生の息子です。

Johannes Brahms ist der Sohn eines Lehrers.

定冠詞 不定冠詞

1. エクトル・ベルリオーズ (Hector Berlioz) は(ある)医者の子です。

【略】

(4) 無冠詞の説明のときには触れませんでした。熟語、慣用句、諺などでは普通、名詞は無冠詞です。独和辞典、和独辞典などを利用して、次の諺にあたるドイツ語を書きなさい。

1. 馬子にも衣装。(ヒント 衣服が人々をつくる！?)

【略】

コラム1：ジャンルにまつわる話①

今回は、日本語での呼び名は一つですがドイツ語では複数の呼び方のある音楽のジャンルについてご紹介します。

セレナーデ：Eine Kleine Nachtmusik と Ständchen

Eine Kleine Nachtmusik と言えば、モーツァルトの作品の中でも特に有名なセレナーデ第 13 番 k.525 です。直訳すれば「ひとつの小さな夜の音楽」、つまり「小夜曲^{セレナーデ}」です。一方 Ständchen もやはりセレナーデと訳され、最も有名なものの一つはシューベルトの歌曲集《白鳥の歌》の一曲でしょう。

セレナーデ (Serenade) は、ラテン語で落ちついた、明るいという意味の形容詞 sereno が、晩を意味する sera と類似していることから「晴れた夜」の意味が派生したことに由来します。その名の通り、夜戸外で演奏される音楽をさす言葉で、その種類は複数あります。まずは、恋人の家の窓辺で歌われる愛の歌という意味のセレナーデ。この場合歌手が持ち運び可能な楽器を携えて相手の所へ赴き熱唱するの形態なのですが、この意味ですとドイツ語ではシューベルトの方の Ständchen が用いられます。Ständchen の語源は、立っているという意味の動詞 stehen (名詞形は Stand) なのですが、演奏するにあたって座る場所がないため必然的に立って演奏していたことからこのように呼ばれたようです。

【略】